

和歌山病院での実習を終えて



松本 恭平

今回の和歌山病院実習で初めて結核病棟を見学させて頂きました。副院長の駿田先生には結核についての講義をしていただきました。結核は感染してしまったら恐ろしいもののように思っていたのですが、講義を聞いてN95マスクをつけるなど感染対策を怠らず、きちんとした知識の元扱えば十分に対応できるものであると認識を改めさせられました。院長である南方先生には、レントゲンの読み方を論理立てて説明していただきました。今までは、レントゲンを見てもわからなかったものが、先生の講義のおかげで読影することの苦手意識が取り払われた気がします。読影することは将来必須なことであるので先生の講義を受けることができ本当に良かったです。和歌山病院でお世話になった先生、医局の方々、お忙しい中2日間の実習をさせていただきありがとうございました。